

現地レポート／ 渡辺 有祐 (複合科学研究科 統計科学専攻)

派遣先：アメリカ合衆国

派遣先機関名：ロス・アラモス国立研究所

派遣期間：2009年8月27日～2009年10月31日

2009年9月29日報告分

授業・研究の進捗状況

受け入れ教官のチャートコフ氏とポスドクのジョンソン氏が、比較的私の研究テーマに近いことをやっている。有難いことに二人とも私と共同で研究することに前向きなので助かっている。最近は毎日から隔日くらいのペースで彼らとディスカッションをしている。英語でのディスカッションの経験は今までなかったので、良い経験になっていると思う。彼らの言っていることは大体聞き取って理解できるが、自分の考えを英語で説明するには英語力が全然足りないと感じている。今までのところいくつかの漠然とした予想を立てたので、帰るまでには何か定理の形にできるように頑張りたい。

生活関連状況

ロスアラモスの街の中心に近いエリアに月貸しの家具付きアパートを借りている。(賃料は一月あたり約8万円。) たまたま街唯一の？スーパーマーケットのすぐ近くだったので、自炊の買い物にも便利である。今は1ドル90円くらいだが、物価は普通。Sushi が売られていたが未挑戦。

気候は9月上旬はTシャツ1枚でいい感じだったが、先週から突然寒くなって長袖が必要になった。内陸性気候なのか、昼と夜でかなり温度差があり、夜は特に冷え込んでいる。しかしアパート内は暖房が利きすぎてむしろ暑い。

ロスアラモスは本当に小さな町で、自然を除いてはあまり観光するところはないと思う。先日の週末は近くの山に連れて行ってもらった。ロスアラモスの山は植物の量も種類も少なく、日本のとはだいぶ異なっているように感じた。熊に遭遇してびっくりした。

その他報告すべき事項

私の周りでは新型インフルエンザの話題は全く聞かない。